

令和 5年度 杉並区施策評価シート I

(00045)

施策	10	快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現
目標	03	気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち
施策担当課	ごみ減量対策課	関係課 杉並清掃事務所 環境課

施策目標
 食品ロスやワンウェイプラスチックの削減等、ごみの排出抑制に対する区民の意識が向上することで、ごみ・資源の総排出量が着実に減少しています。また、資源の分別徹底やプラスチックの新たな資源化等により、環境負荷を軽減する3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組が一層推進されています。ごみ出しに関するルールやマナーが守られるとともに、集積所におけるカラス対策の効果が上がることで、まちの美観が向上しています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	ごみの収集量	指標名(1)	ごみ・資源総排出量指数
算式・指標説明	可燃、不燃、粗大の収集量	算式・指標説明	ごみ・資源総排出量について、令和2年度を100として比較【社会】
指標名(2)	資源の回収量	指標名(2)	区民一人1日当たりのごみ排出量
算式・指標説明	資源回収量(行政回収分)	算式・指標説明	年間可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ量÷人口÷365日【社会】
指標名(3)		指標名(3)	可燃ごみに含まれる生ごみの量
算式・指標説明		算式・指標説明	家庭ごみ排出状況調査【社会】
指標名(4)		指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績		
活動指標	活動指標(1)	1 t	100,664	99,209	97,676	97,230	94,112	
	活動指標(2)	2 t	32,401	40,522	31,438	39,714	30,535	
	活動指標(3)	3						
	活動指標(4)	4						
成果指標	成果指標(1)	5	100.0	0.0	97.6	97.0	94.0	85.0 令和12年度
	成果指標(2)	6 g	479	450	468	465	451	410g 令和12年度
	成果指標(3)	7 t	0	0	30,793	32,700	30,793	29,900t 令和12年度
	成果指標(4)	8						
	成果指標(5)	9						
	成果指標(6)	10						
施策コスト	事業費	11 千円	4,317,550	4,484,254	4,367,127	4,646,068	4,494,091	特記事項 成果指標3に関して、家庭ごみ排出状況調査は令和4年度実施していないため、令和3年度の数値で表示しています(令和5年度実施予定)。
	人件費	12 千円	1,766,239	1,581,601	1,534,157	1,451,432	1,483,304	
	総事業費(11+12)	13 千円	6,083,789	6,065,855	5,901,284	6,097,500	5,977,395	
	国・都からの補助金等	14 千円	40,841	46,520	48,830	36,201	33,641	
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	15 %			3.0	0.5	1.3	
	人件費比率(12÷13)	16 %	29.0	26.1	26.0	23.8	24.8	

課題・分析	<p>近年、コロナ禍により変容した生活習慣が平時の生活に戻りつつあり、今後ごみの排出状況が変化していくと予想されますが、区民・事業者・区がそれぞれの責務と役割を果たし、協働しながらごみの減量と適正分別、資源化の推進を継続していく必要があります。そのため、一人ひとりの行動変容やごみの発生抑制に向けた意識改革を促す取組を強化・継続する必要があります。</p> <p>また、令和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されたことに伴い、令和6年度に予定している、プラスチック使用製品廃棄物の分別回収モデル実施に向けた具体的な検討を実施します。</p>
施策の成果	<p>令和4年度からの新たな総合計画・実行計画では、循環型社会の実現に向けて、ごみ・資源総排出量指数と可燃ごみの中の生ごみの量を新たな指標として設定しました。食品ロス削減では、家庭系でフードドライブへの提供食品数が令和3年度の約1.7倍となる24,441個となりました。業務系では「食べ残し0(ゼロ)応援店」の登録店舗が190店増加の815店舗となりました。また、余剰食品と消費者をアプリで結びつける「フードシェアリングサービス」の登録店舗は6店増の64店舗となりました。令和4年度のごみ収集量は、令和3年度より3,564t減少し94,112tとなりました。その結果、区民一人1日当たりのごみ排出量は451gとなり令和3年度より17g減少する結果となりました。資源回収量は、集積所回収30,535t(古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装)、有用金属1,284t(不燃ごみ、粗大ごみ、小型家電)と集団回収4,199tを合計した36,018tとなり、令和3年度より1,303tの減少となりました。</p> <p>コロナ禍が収束に向かうとともに、区民・事業者・区の協働による取組が成果をあげつつあり、ごみ・資源の総排出量は減少に向かいつつあります。</p>
<p>改善・見直しの方向 中長期</p> <p>今後の進め方</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>区民・事業者と協働しそれぞれの責務と役割を果たし、ごみの減量と適正分別、資源化の推進を継続していきます。</p> <p>食品ロスの削減の取組として、食ロス講座の開催や私立学校法人と連携した教室など実践的な手法を取り入れ、区民の行動変容を促す内容としていきます。また、「食べ残し0(ゼロ)応援店」における食べ残しの持ち帰り(mottECO)普及推進モデル実施事業を推進します。</p> <p>法を踏まえた更なるプラスチックの資源化に向け、プラスチック使用製品廃棄物の分別回収モデル実施を行い、区内全域実施に向けた取組を進めます。また、「ごみ・資源の収集カレンダー分け方・出し方」は、ごみ・資源の発生抑制及び、プラスチック使用製品廃棄物の分別の重要性を周知するため、分別内容を充実するとともに、スリム化を図り掲載内容の改善を検討します。さらに、羽毛布団の再資源化に向けた新たな取組を進めます。</p>

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 10】【施策名称 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現】

金額の単位は千円

(00045)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 430	安全美化条例に基づく生活環境の改善			25,210	35,498	60,708	推進（拡充）
2 431	カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談			16,459	6,331	22,790	現状維持
3 437	一般廃棄物処理管理事務			2,262	23,500	25,762	現状維持
4 438	ごみの減量と資源化の推進			79,271	103,562	182,833	推進（拡充）
5 439	ごみ・し尿の収集・運搬			1,842,585	973,219	2,815,804	現状維持
6 440	資源の回収			2,458,137	90,589	2,548,726	推進（拡充）
7 441	ごみ・資源の排出の適正管理			70,167	250,605	320,772	推進（拡充）
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				4,494,091	1,483,304	5,977,395	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--